

# 水道管の凍結対策



水道管は、気温がマイナス4℃以下になると凍結しやすくなります。水道管が凍結してしまうと、水が出なくなるばかりでなく水道管が破裂するおそれがあります。早めに凍結防止の対策を行いましょう。



## 凍結しやすいところ

### ☆屋外でむき出しになっている（保温材が損傷した場合も同様）

屋外でむき出しになっている水道管は凍結しやすい場所です。風当たりの強い建物の北側は特に注意が必要です。また、保温材が損傷していたり、壁と保温材に隙間がある場合、そこから凍結する危険度が高くなります。



給水管がむき出しになっている

### ☆給湯器本体および給湯器回りの給水管・給湯管

給湯器本体および給湯器回りの給水管・給湯管や給水元栓も凍結しやすい場所です。一般的な給湯器には凍結防止機能が組み込まれています。ただし、電源プラグを抜くと作動しないため、ご注意ください。

詳しくは、機器取扱い説明書をご確認ください。



### ☆学校・マンション等の貯水槽流入管・流出管

貯水槽施設周辺の配管部が凍結すると、施設全体が水道を使えなくなる可能性があります。一般家庭に比べ、凍結箇所の特定や解凍するのに時間を要するため、施設への影響時間が大きくなります。



### ☆パイプシャフト内の水道管・水道メーター

マンション等のパイプシャフトの多くは通風孔や隙間があるため、冷風が中で循環する状態が続くと、水道管や水道メーターの凍結につながります。また、水道管が露出していたり、水道メーターの保温カバーが破損していたりするとさらに凍結しやすくなります。



保温カバーが外れている

## 凍結させないために

凍結を防止するためには、水道管や屋外水栓を保温することが有効です。

むき出しになっている水道管は、発泡スチロール製の保温材の取り付けが効果的です。ただし、保温材が損傷していたり、外れていますと凍結しやすくなりますので、定期的に点検・取替をお願いします。さらに凍結防止には、凍結防止ヒーターの取り付けがより効果があります。

その他、夜間に鉛筆の芯ほどの太さ（直径約2mm）で水を出し続けると、水道管の凍結防止に有効です。

保温材や凍結防止ヒーターの取り付けは、

新潟市指定水道工事店（新潟市指定給水装置工事事業者）にご相談ください。

## 破裂の被害を防ぐために

破裂に早急に対応するため、止水栓の位置を普段から確認し、操作できる状態にしておくことが重要です。また、人がいない施設で水道管が破裂すると、施設の被害や周囲に迷惑をかける場合があります。凍結する恐れのある冬期間、空家やマンション・アパートの空部屋、普段人がいない施設など常時水道を使用しない場合は、止水栓を閉めておくと破裂による被害を防ぐことができます。

### 止水栓の位置を確認してください

メーターBOX内の止水栓の例



止水栓の例



新潟市水道局  
マスコットキャラクター  
水太郎

## 凍結や破裂してしまったら

蛇口や水道管が凍結してしまったら、自然に解けるのを待ってください。水道を早く使用したい場合は、蛇口を全開にしてタオル等をあてて、上からぬるま湯（約50℃）をかけてゆっくり解凍してください。

※熱湯をかけると水道管が破裂する恐れがありますので、熱湯はかけないでください。

水道管や蛇口が破裂した場合は、止水栓を閉め、水を止めたうえで新潟市指定水道工事店に修理を依頼してください。

なお、修理等の作業にかかる費用は、お客様の負担となります。